

昭和村誕生年の出来事

昭和三十三年十一月一日は昭和村が誕生した日。村民の誰もが知っていることだと思ふ。

昭和村が誕生した年は、どんな出来事があったのだろうか、ちよつと興味があつたので調べてみた。

まず一月には、東京通信工業がソニーに社名変更。アメリカが初の人工衛星打上げに成功。

二月、第一回日劇ウエスタンカーニバルが開幕。

三月、関門トンネルが開通。旧ソビエトのフルシチョフが首相に就任。

四月、売春防止法施行。巨人の長島茂雄が四打席四三振でデビュー。日本コカコーラがファクタ発売。

五月、多摩動物公園開園。

七月、アメリカで地球観測衛星打上げ。

八月、中国で人民公社運動開始。日清食品が世界初のインスタントラーメン「チキンラーメン」を発売。

九月、狩野川台風が上陸、死者行方不明者一、二六九名の大きな災害となった。ソビエト連邦核実験実施。

十月、ブルートレイン「あさ

かせ」運行開始。フラフープの販売開始。

十一月、東海道線で「こだま」の運行開始。宮内庁で皇太子（明仁親王）と正田美智子さんの婚約を発表。

十二月、聖徳太子像の新一万円札が発行。東京タワーの完成などがあつた。

当時の物価の一例をあげると、ガソリン一リットルが三十八円、国鉄の最低運賃が十円、サラリーマンの平均月収が三四、六六三円だった。

出来事の流れから見ると科学技術の発展と高度経済成長期に向かつて行く「夢と希望」が溢れる時代の中での合併だったと言えるのではないだろうか。



昭和33年 最初の共同トラクター導入「農業立村昭和村」の礎となった

参考 昭和村のあゆみ 他
昭和村ボランティアガイドの会

事務局次長 倉澤 新平



認知症を知ろう！

認知症とは

脳細胞の死滅や活動の低下により脳の働きに不具合が生じ、理解力・記憶力・判断力が低下したり、時間・場所・人物を正しく認識できなくなるなど、日常生活や社会生活に支障をきたす状態を指します。

認知症は一部の人の病気？

認知症は脳の病気によるもので誰にでも起こりうる可能性があります。

認知症は治らない？

早期発見と適切なタイミングで治療やケアを行うことで病気の進行を緩やかにできる場合があります。

認知症は予防できない？

運動や食事などの生活習慣の改善で、認知症の発症を遅らせることができる可能性があります。

認知症ケアパス配布中

「もの忘れ」が気になった場合に活用できる冊子です。症状の進行に応じて受けられる福祉や介護のサービスなどがまとめてあります。地域包括支援センターで配布していますので、ご希望の方はお問い合わせください。



認知症サポーター養成講座開催中

地域包括支援センターでは、認知症について正しい知識を持ち、ご本人やご家族を温かく見守る「認知症サポーター」を養成する講座を行っています。職場・団体・地域等の勉強会としては是非ご活用ください。

ご希望の方は地域包括支援センターまでお問い合わせください。



問合せ 地域包括支援センター ☎ 20-1126

